

ふるさとの自然を守ろう！ 第42回 明中クリーン活動 in 油ヶ淵 5 / 2 1



昭和63年に始まった伝統あるクリーン活動を行いました。生徒は、PTA役員・委員や保護者のみなさんと一緒に、ごみを拾いました。出発の会では、安城ロータリークラブ副会長の石川博様から継続発展的な活動を高く評価して頂くとともに、激励の言葉を頂きました。さらに、安城ロータリークラブからは一輪車やごみばさみをご寄贈いただきました。また、去る13日には、

早朝から2時間、PTA役員・委員・保護者・1年の深津君ら50名もの方々が油ヶ淵クリーンクラブのみなさんのお力添えを得て、下草刈りをしてくださいました。

明芸館の写真展「油ヶ淵とふるさと明祥(3月)」で見た美しい油ヶ淵を思い描き、多くの方々の下支えに感謝するとともに、400名は油ヶ淵を吹き抜けるさわやかな風を感じながら、さわやかに活動しました。軽トラック5台分のごみを集めることができました。



ボランティアによる下草刈り



磯村静波さん撮影



ロータリークラブより激励

35kmを完歩

5 / 1 1

早朝5時に学校集合。豊田市平戸橋辺りから学校までの道のりを6時間かけて歩きました。

痛いのは生きている証、苦しいのは試練と自分に言い聞かせ、重い脚を引きずりながら一步一步と歩を進めました。

疲れた体を癒すさわやかな風と、校長先生から頂いた完歩賞に、達成感と自信の表情を見せる2年生でした。



長距離歩行を終えて

最初は、班でまとまって歩いていただけ、先を急ぐ人と仲のよい友達とゆっくり行きたい人とがばらばらになり、とても困りました。そのとき、ある友達と一緒に歩くように呼びかけてくれました。このとき、友達のよいところを見つけ、うれしくなりました。今回の長距離歩行で一番よかったことです。午後は、脚がつって歩くのが大変だったけれど、班のみんなと声をかけながら、最後まで歩き切ることができました。

た。疲れたり痛かったりして、とても大変だったけれど、それを乗り越えた達成感を味わうことができ、よかったです。(深津くん)

班の目標「励まし合いながら絆を深めてみんなで完歩すること」を達成することができた長距離歩行でした。足が痛むとき、



疲れたときに、ペースを考えて歩いたり、「あと少し。」「大丈夫だよ。」と声をかけたりしながら、班みんなのことを考えて歩くことができました。学んだことは、目標があれば、がんばれるということです。ゴールしたときには、



疲れよりも楽しかったという思いの方が大きかったです。深めた絆や目標に向かってがんばれた自信を、これからの生活に生かしたいです。(江坂さん)